

CHAPTER 10

組織文化

- 01 文体活動
- 02 コラム：文体活動（eスポーツ大会、マグロ解体ショー、サークル活動など）
- 03 MeRISE
- 04 One NECサーベイ

組織文化における現状と課題

組織カルチャーの変革に向けた活動を数年にわたって継続しています。その成果として、エンゲージメントは年々向上しています。当社が目標とするエンゲージメントスコア50%の実現に向け、さらなる施策を確実に実行していく必要があります。

01 文体活動

文化・体育・サークル活動を奨励

当社の文化・体育・サークル活動には、「全社scrum」「ワイガヤscrum」「サークルscrum」「スポーツ応援scrum」「健康scrum」「企業市民scrum」の6つがあります。

①全社scrum

年に1回、2021年度から全社eスポーツ大会を実施しています。勤務地を問わず、従業員だけでなくその家族も参加できます。eスポーツだけでなく、お笑い芸人による漫才やプレゼント抽選会など、様々なイベントを行っています。

②ワイガヤscrum

コミュニケーション活性化、モチベーション向上、一体感醸成、方針戦略理解のため、組織内および組織横断の懇親会への費用補助を行っています。

③サークルscrum

業務や所属、役職、地域などに限定されない共通の趣味である運動や文化的な活動を通して、人材の融合、団結力の強化、風通しの良い組織づくりを図るため、会社として活動を推奨し、支援しています。現在、全国に約80のサークルがあります。

④スポーツ応援scrum

ラグビーの「NECグリーンロケッツ東葛」と女子バレーボールの「NECレッドロケッツ川崎」を応援しています。特に「NECレッドロケッツ川崎」については、廣田あい選手が当社の事業支援部に所属しており、ホームゲームでの社員応援イベントなどを実施しています。

⑤健康scrum

健康ミッションアプリ(前述)で健康を促進。チーム参加を推進しています。

⑥企業市民scrum

全国規模の「良き企業市民」として本業のICTを活かした活動から身近な清掃活動まで各地域に根ざした社会貢献活動を行っています。また将来世代との対話から、その意見や考えを学び、知見を経営に活かしていくFR(Future Generations Relations)活動も推進しています。

■文化・体育・サークル活動の概要

全社scrum 職場の活性化	ワイガヤscrum 全社員の一体感(コミュニケーション)	サークルscrum 趣味のつながり
スポーツ応援scrum NECスポーツを通じたつながり	健康scrum 社員の健康促進	企業市民scrum 社会貢献活動

■全社scrum延べ参加人数

2021年度	2022年度	2023年度
3,154人	5,169人	3,662人

02 コラム：文体活動（eスポーツ大会、マグロ解体ショー、サークル活動など）

社員と家族が一緒になって楽しめるイベントが多数 楽しみや喜びを分かち合い、メンバー同士の絆を深める

全社scrum活動の一環として、ポケモンのeスポーツ大会を開催しました。社員とその家族が一緒に参加できるルールとし、子どもや家族と一緒に楽しめるイベントとしています。2023年度は全国から187チーム698名が参加し、大いに盛り上がりました。予選が近づくと、職場のあちこちで「ポケモン」に関する話題が飛び交います。どの機器の操作性が優れているかなど、作戦会

議にも花が咲きます。地区ごとの予選大会を勝ち抜いたチームたちが東京都渋谷区のイベントスペースに集結し、決勝大会を開催しました。会場には社員とご家族635名が集まり、白熱した対戦が繰り広げられました。

文体活動では、新年会や夏祭りなど、季節ごとに多彩なイベントを開催し、活動が活発に行われています。ラグビーの「NECグリーン

ロケッツ東葛」や女子バレーボールの「NECレッドロケッツ川崎」を応援するイベントなどもあります。

当社はオフィスとリモートを組み合わせたハイブリッドな勤務体制ですが、会社に来たくなるイベントや、対面した際には同じ社員としての絆を深められるような様々な仕組みを考え、取り組んでいます。



ポケモンのeスポーツ大会には社員だけでなく、家族も多く参加



マグロ解体ショーの様子



NECレッドロケッツ川崎の応援イベント

03 MeRISE

個人、チーム、部門の自律的な活動

2022年4月から「自ら考え、自ら行動する」文化の醸成として、個人、チーム、各部門で様々な自律的な変革活動に取り組んでいます。この総称を「MeRISE(ミライズ)」と呼んでいます。これらの変革の輪がつながるように、取り組みを取材し紹介したり、解決に向けた支援や環境作りなどを支援しています。

例えば、実際の物理サーバーを見る機会がない若い世代に向けて「サーバー解体ショー」を行うチームや、クラウドの勉強会をどうやって「気軽に」「理解度高く」できるか、アイデアを出し合って創意工夫しながら技術勉強に取り組むコミュニティなど、個性あふれるユニークな取り組みが社内のあちこちで行われています。一部の取り組みは、当社のCorporate Blogで社内外へ発信しています。

NECソリューションイノベータCorporate Blog

URL: <https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/company/blog/index.html>

また、変革の輪を広げる有効な手段として、「組織を超えたつながり作り」も注力しており、当社、NECグループ内に数多くあるコミュニティの情報を収集・紹介しています。業務に関わる内容はもちろん業務外をテーマにしたコミュニティもあり、2024年3月31日時点で42件のコミュニティがあります。



■チーム、部門での取り組みやコミュニティの一例



サーバーの解体ショー



クラウド勉強会「雲乃珈琲」



日本酒LOVE☆



Solo Camp Team

04 One NECサーベイ

データに基づく施策で エンゲージメントを向上

NECグループ共通の「One NECサーベイ」を年1回実施し、より簡易な「パルスサーベイ」を年数回実施しています。

これらの調査を通じて、従業員の心情の変化を把握し、エンゲージメントや組織、職場、働き方などの課題を発見しています。課題を解決するための施策をデータに基づいて検討し、実施、レビューし、改善へとつなげるPDCAサイクルを回しています。

One NECサーベイでは、「エンゲージメントスコア」をモニタリングしています。エンゲージメントスコアとは、仕事や会社への誇りと情熱に関する設問に対し、肯定的な回答をした社員の割合を示す数値です。まだ十分なレベルとは言えませんが、改善に向かって推移しています。最新結果である2023年度は、前年度より約6ポイント向上しました。

エンゲージメントスコアを高める要因には、「生産的な働き方」「成長を感じられる環境」「オープンで柔軟な会社風土」などが挙げられます。NECグループの2025中期経営計画では「エンゲージメントスコア50%」を目標に掲げ、企業文化と経営基盤の変革を進めています。

■全社サーベイにおけるエンゲージメントスコア

	2021年度	2022年度	2023年度
当社	25.6%	28.5%	34.4%
日本IT企業平均	21.0%	24.0%	25.0%
日本企業平均	28.0%	27.0%	28.0%

※エンゲージメントに関する質問(6問)の回答平均スコアが4.5以上(1～6点中)の社員の割合

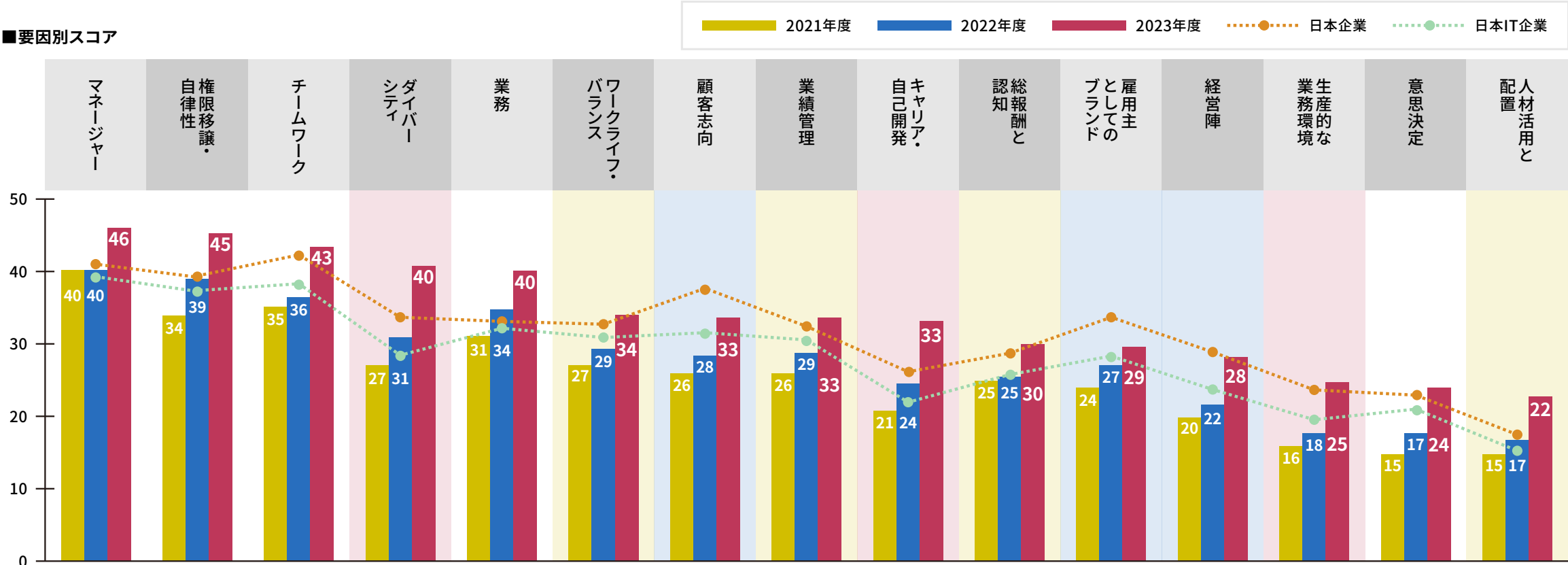
04 One NECサーベイ

エンゲージメントスコアを項目ごとに追跡

「ダイバーシティ」「キャリア・自己開発」「生産的な業務環境」は前年度比で、7ポイント以上向上し、積極的な教育や能力向上サポート、新たなスキルを習得できるアサインや多様性の尊重・受容施策推進の結果が出ていると考えられます。

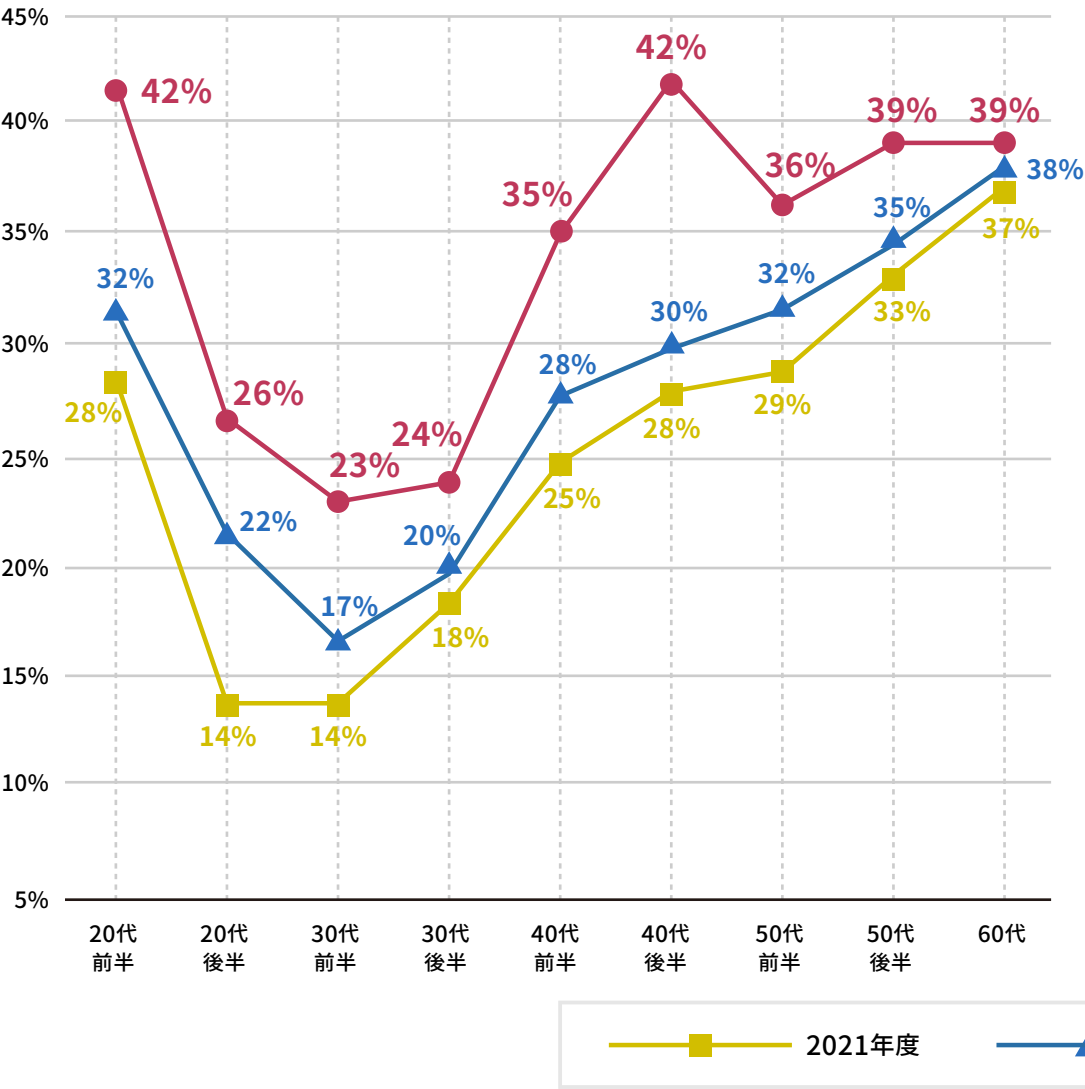
一方、「ワークライフ・バランス」「業績管理」「総報酬と認知」「雇用主としてのブランド」「人材活用

と配置」は緩やかに向上、「顧客志向」「雇用主としてのブランド」「経営陣」も向上しているものの、日本企業平均と差があります。今後、顧客ニーズの変化に対しスピード感を持った反応ができるような意思決定体制の拡充や、当社の強みの認知強化、社員と経営陣のコミュニケーション強化等の必要があります。



04 One NECサーベイ

■年代別スコア



■役職別スコア

